

野外体験プログラム

尾瀬フィールドワーク

2024年7月29日～31日 場所：尾瀬国立公園 1・2年生 7名

尾瀬ヶ原で自然を学ぶ3日間 ～環境保全の現場と貴重な体験～

東京パワーテクノロジー(株)のガイドのもと、尾瀬特有の動植物や環境保全の取り組みについて学びました。ヤマネの頭数調査では、巣箱を一つひとつ確認し、ヤマネを発見するという貴重な体験をしました。ナイトウォークでは、小雨が降る中、ヘイケボタルの観察を行いました。また、鹿の頭数調査方法の一つであるライトセンサス調査も体験しました。この調査では、ライトが鹿の目に当たる際の反射光を用いて頭数を調べる方法を学び、数頭の鹿を発見することができました。尾瀬ヶ原の散策では、木道の設置方法や、環境保全の工夫を学ぶとともに、尾瀬特有の地形や動植物について詳しく知ることができました。

生徒の感想：緑色に光る鹿のタペタムや、川に近づくにつれて植物が層をなして入れ替わる様子など、都会では見ることができない自然に触れ、とても貴重な体験ができました！



尾瀬ヶ原の自然と環境保全
多彩な高山植物（上）
植生保護柵（下）



ヤマネの頭数調査
木に設置された巣箱を降ろす（上）
巣箱の中の観察（下）

